



失われた30年じゃない。天才たちが生まれた30年だ。
 野球を、フィギュアを、将棋を見よ。ちゃんと世の中を見渡してみよう。
 この30年は、たくさんの才能が生まれ、羽ばたいた30年じゃないか。
 この国は何も失っていない。あえて言えば、一部の既得権益が消えただけだ。
 日本中の新たな才能たちへ。過去を嘆く上の世代は気にしないでいい。
 途方もない目標を口にして、好きなだけ自信を持ち、
 いつも自分を楽しんで、行けるところまで駆け抜けてくれ！

(株)宝島社の1月5日付新聞広告から引用



行けるところまで駆け抜けてくれ！

誰もが決まり文句のように使う『失われた30年』本当にそうでしょうか。
 大谷、羽生、藤井…。素晴らしい才能が生まれた30年だったのでは?!
 困難に思える時代も、視点を変えればそこには必ず希望があります。
 大津中の「新たな才能たち」へ。
 行けるところまで駆け抜けてくれることを心から期待しています。

「誰かの支えに」

社会を明るくする運動 表彰式



1月5日(金)に本年度の「熊本県社会を明るくする運動 作文コンテスト」の表彰式があり、本校3年の西本優月さんが「県更生保護協会会長賞」を受賞しました。「誰かの支えに」という題で、自分自身の体験を織り交ぜたとても感動的な内容でした。おめでとうございます！



本番さながらの真剣さ

冬休み明けの実力テストが行われましたが、入試を控えた3年生は本番さながらの真剣さで問題に取り組んでいました。全学年を見て回りましたが、1・2年生とは違う緊張感がありました。1月16日の専大玉名高、玉名女子高等を皮切りに県内では本格的な入試シーズンが始まります。3年生の健闘を祈っています！